

○議長（高橋正博君）

教育民生常任委員長 木場隆司君。

○教育民生常任委員長（木場隆司君）

おはようございます。

閉会中の令和4年1月27日に教育民生常任委員会を開催しましたので、その内容を報告いたします。

はじめに、健康福祉課から、「令和3年度子育て世帯等臨時特別給付金に係る所得制限の撤廃」と、「新型コロナウイルスワクチンの3回目接種」について説明がありました。

給付金については、昨年12月24日から給付を開始し、1月21日までに1454人分の振り込みを完了した。また、現在は所得制限が設けられているが、大臣の発言や、財源としての国の交付金が活用できるとの方針が示されたことから、土庄町においても制限を撤廃したい。その場合、新たな対象となる児童は50人程度を見込んでいる。対象者には1月28日に申請書を送付し、2月18日から給付を開始したいとのことでありました。

次に、コロナワクチンの接種について、2回目までの接種状況は、12歳以上は約87%と県内他市町と比較してもかなり高い接種率であり、かつ早い時期に接種をおおむね完了できた。

3回目接種については、12月から医療従事者の接種を開始、1月からは高齢者施設の入所者や従事者を対象に、順次接種を実施しているとのことでありませぬ。

一般高齢者は、郡内の医療機関で1月31日から接種開始の予定である。予約は、各町の予約センターで電話のみの受け付けで、2回接種した日の早い方から、高齢者を優先し、接種券を順次発送し、すでに予約を受け付けている。

接種可能なワクチンはファイザー製とモデルナ製であり、混乱や間違いを避けるため、医療機関ごとに接種できるワクチンを分けて実施する。町内では、外園医院、みなと診療所がファイザー製、平井クリニックがモデルナ製であるとのことだ。

集団接種は、現時点では豊島で2回実施することは決定しており、豊島以外は、小豆2町合同で実施する予定で調整している。64歳以下の方の接種は、高齢者の予約状況を見ながら、早ければ2月上旬から接種券の発送を開始する。

また、新たに5歳から11歳までの子どものワクチン接種については、小豆郡医師会、小豆島町、小豆島中央病院と十分協議した上で、慎重に接種体制の準備を進めたいと説明がありました。

委員から、県が実施している無料のPCR検査は、小豆島ではどこで受けられるのかとの質問があり、郡内では両町の平井クリニック、また、県内であれば

どこでも受けても無料であるとの回答がありました。

次に、教育総務課から、新型コロナウイルス感染拡大に伴う学校等の対策について説明がありました。

1月13日ころから陽性者が発生しはじめ、現在では、土庄こども園、土庄小学校、土庄中学校で陽性者が出ている。消毒については、その都度実施し、こども園、小中学校すべて完了しているとのこと。

土庄こども園では、2クラスを学級閉鎖し、24日からは、自粛をお願いしながら全クラス保育を開始している。土庄小学校については、8クラスに渡って感染者が出ており、1月17日から21日までの1週間を学校閉鎖とし、24日からは通常の授業を行っている。土庄中学校については、2クラスに陽性者が出たため、そのクラスを25日まで学級閉鎖とし、26日からは通常の授業を行っている。現在はすべての園、小中学校について学級閉鎖はなく、通常の運営を行っているとの説明がありました。

委員からは、小学校を1週間休校したが、授業日数は足りるのかとの質問があり、現時点では7時間授業や春休みの短縮をせずとも、確保できるとの回答がありました。

また、消毒作業について質問があり、作業は教育委員会の職員が、多いときには5人程度で保健所の指導を受けて行っていると回答がありました。

また、学校において濃厚接触者にならないよう対策は行っているかとの質問に対して、教室は、暖房をつけたまま窓を開けて換気している。スクールバスは、窓を開けたままで走れないが、車内の消毒、抗菌処理を行っている、乗車前の手指消毒もしているとの回答がありました。

そのほか、こども園での保護者への登園自粛のお願いについて、仕事に行くために預けているので、自粛することによって仕事に行けなくなるとはいけない。自粛の「協力」のお願いであることを丁寧に周知してほしいとの意見がありました。

次に、生涯学習課から、生涯学習課所管施設における新型コロナウイルス感染防止の対応について説明がありました。

町の基本方針に基づき、所管施設及び関係団体への対応を行っている。主な施設については、図書館は適切な感染防止対策を講じての開館としており、視聴覚コーナー、学習室、畳の部屋は利用停止している。各公民館や体育施設等は、新規申し込みを停止している。

スポーツ少年団、子ども会へは、学校の子どもへの対応に準じて、自団体の練習以外の自粛をお願いしている。今後の各施設の利用については、県の感染レベルや県内・島内の感染状況によって対応したいとの説明がありました。

以上で、閉会中に開催された教育民生常任委員会の報告を終わります。

